



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2014/8/31にご同意いただいた方

【研究課題名】

アルツハイマー病の既存の脳脊髄液を用いた多層的疾患オミックス解析に基づく創薬標的の網羅的探索を目指した研究

【研究責任者】

新飯田 俊平（国立長寿医療研究センター・バイオバンク・オミックスユニット）

【本研究の目的及び意義】

患者及び非患者群の脳脊髄液の多層オミックス解析（トランスクリプトーム・プロテーム・メタボローム）を行い、その解析情報から、アルツハイマー病の病態に関連する生体分子候補を抽出し、生化学的・分子生物学的手法による検証を行い、疾患の診断マーカー・創薬標的分子を同定することを目指す。

【本研究に提供している試料・情報】

髄液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)